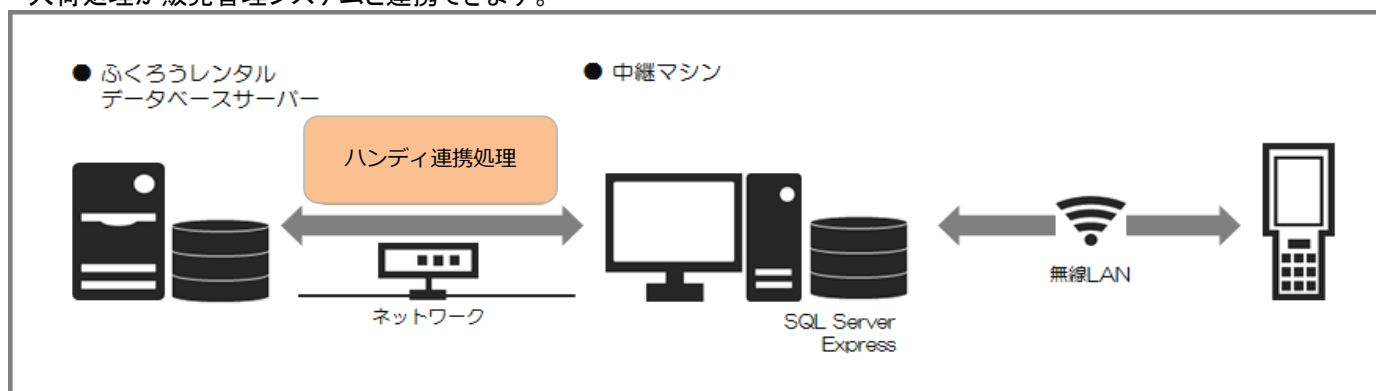


# ふくろうハンディオプション（ハンディ操作）

## はじめに

ハンディターミナルを使用してバーコードスキャンすることで、出荷検品、返却、棚卸、入荷処理が販売管理システムと連携できます。



ふくろうレンタルのデータベースとハンディターミナル間には中継マシンと呼ばれるクライアント経由で処理を行います。中継マシンにはSQL Server Express（無償）をセットアップし、ハンディ連携処理を実行することで、ふくろうレンタルのデータと同期をとります。中継マシンとハンディターミナル間は無線LANによる接続を行い、リアルタイムでデータを連携します。無線LANの環境がない場合は、中継マシンとUSBによるバッチでのデータ連携も可能です。

## ハンディターミナル基本操作

### 本体ボタン操作



# ハンディアプリ画面構成

## 画面構成

システムから参照された項目は、緑字で表示されます。

ファンクションボタンです。機器本体の同じ色のファンクションボタンと連動しています。

**戻る**  
一つ前の画面に戻ります。入力内容は破棄されます。

**メニュー**  
メインメニュー画面に戻ります。入力内容は破棄されます。

**確認**  
確認画面を表示します。

**登録**  
入力した内容を登録します。

売上傳票No 23  
得意先 00  
テスト得意先

商品

追跡番号

検数

戻る    メニュー    確認    登録

カーソルが入っている入力項目は、背景が黄色で表示されます。

入力不可の項目は、背景が黄緑で表示されます。

# 無線LANへの接続

## 1. BTシステムメニューを起動



デスクトップの「BTシステムメニュー」のアイコンに十字キーでカーソルをあわせ、エンターキーを押します。

## 2. 通信設定を選択



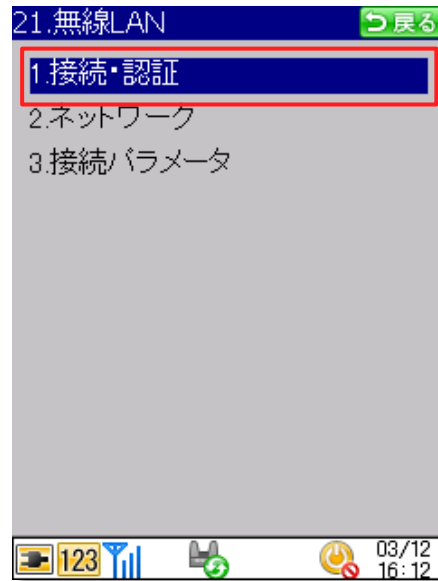
テンキー2番を押して「通信設定」を起動します。

### 3. 無線LANを選択



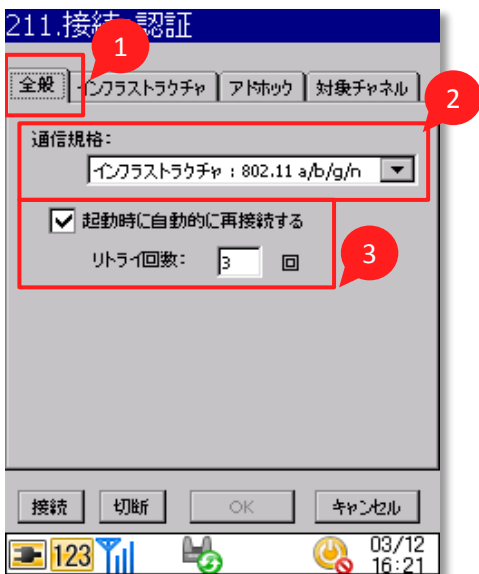
テンキー1番を押して「無線LAN」を起動します。

### 4. 接続・認証を選択



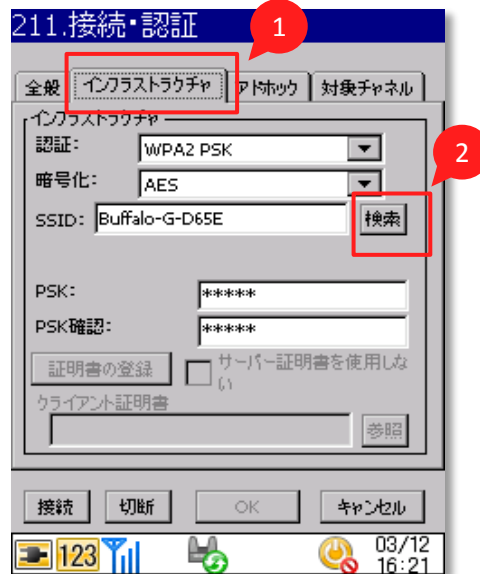
テンキー1番を押して「接続・認証」を起動します。

### 5. 通信規格を選択



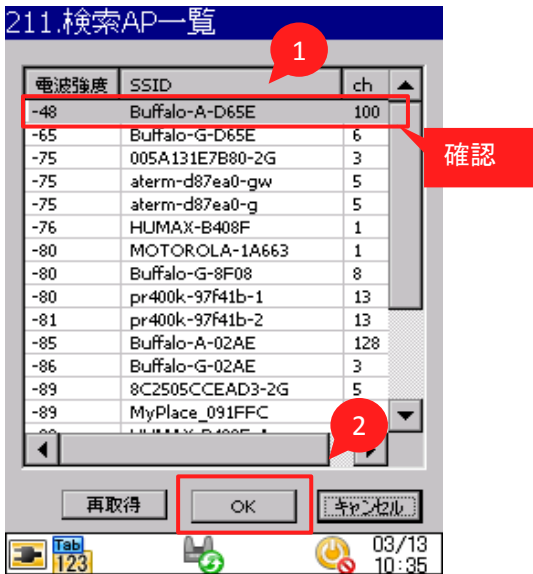
- ① 全般タブをタップし、無線LANの通信規格を選択します。
- ② ハンディを起動した時に自動的に無線へ接続するため「起動時に自動的に再接続する」にチェックを付けます。

### 6. 接続・認証を選択



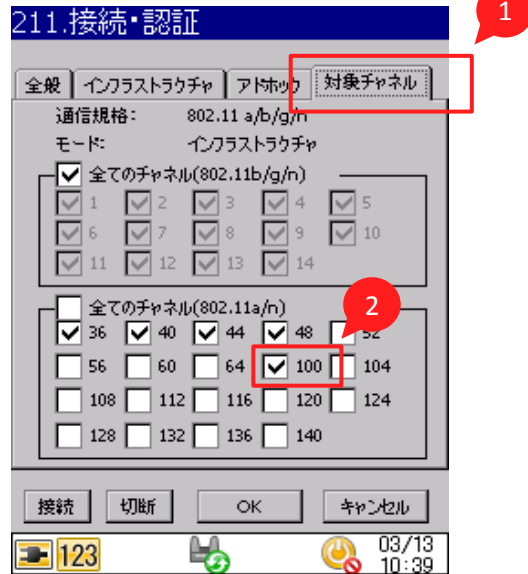
- ① インフラストラクチャタブをタップします。
- ② 検索ボタンを押します。

7. 接続する機器を選択



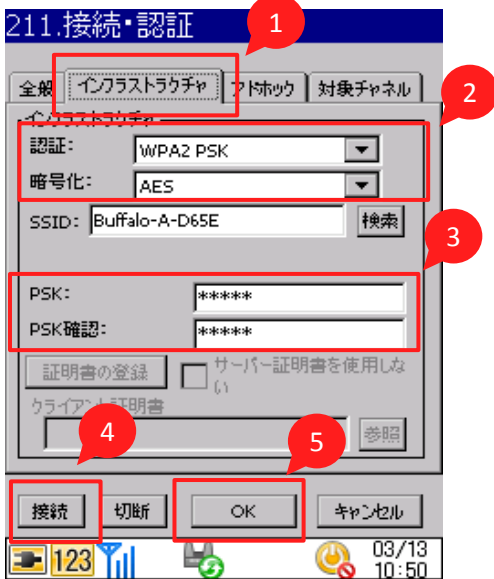
- ①接続する無線LAN機器を選択します。  
この時にch(チャンネル)を確認します。
- ②OKボタンを押します。

8. 対象チャンネルのチェックを確認



- ①対象チャンネルタブをタップします。
- ②手順7で確認したチャンネルにチェックが入っているか確認します。入っていない場合はチェックを付けます。

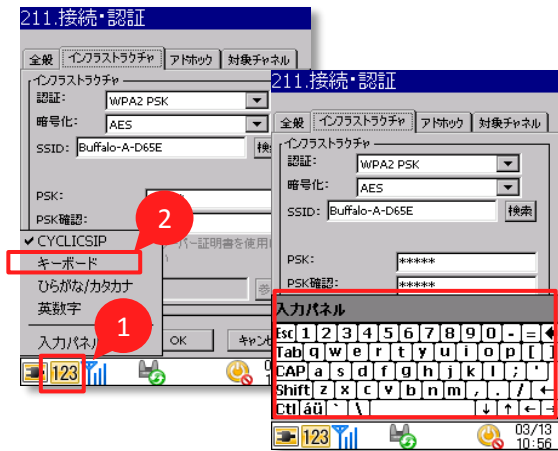
9. 暗号化キーを入力



- ①インフラストラクチャタブをタップします。
- ②暗号化モードを選択します。
- ③暗号化キーを入力します
- ④接続ボタンを押します。  
「接続しました」のメッセージが出れば  
接続完了です。
- ⑤OKボタンを押して画面を閉じます。

接続エラーの場合

- 暗号化キーが間違えている  
再度キーを入力してください。  
内蔵のキーボードを使うと比較の入力が簡単です。



- ①IMEアイコンをタップします。
- ②キーボードをタップします。  
※戻す場合は、「CYCLISIP」を選択してください。

接続エラーの場合（続き）

●SSIDのチャンネルが対象外

手順7の接続するSSIDのチャンネルを確認します、

↓

手順8ので確認したチャンネルにチェックがついているか確認してください。

●認証モードが違う

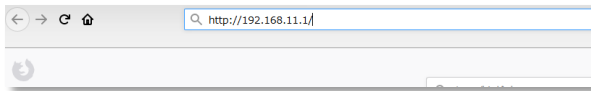
手順9の②で設定した認証モードが、無線機器で設定している認証モードと違う可能性があります。

無線機器の設定を確認してください。

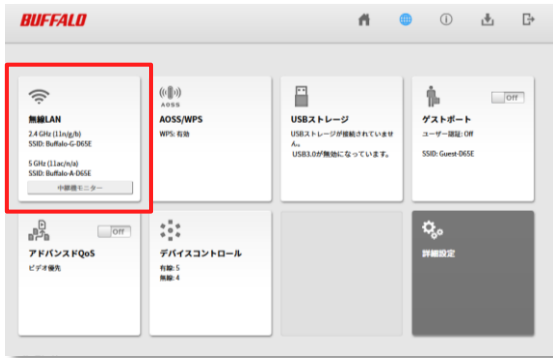
※確認方法は無線機器のメーカーにお問い合わせください

（以下、BUFFALO社の場合）

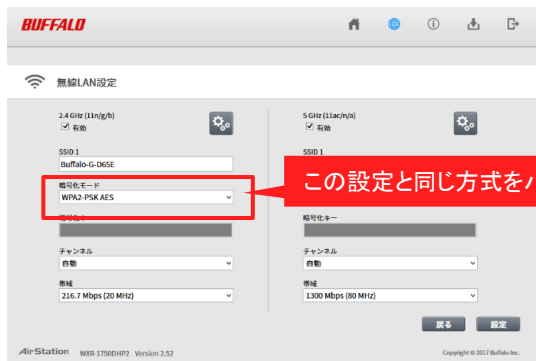
①ブラウザのURL欄に無線機器のアドレスを入力（http://192.168.11.1/）など



②無線LANの設定をクリック



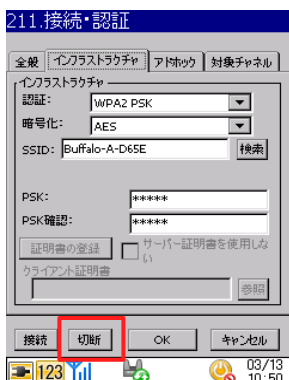
③暗号化モードを確認



この設定と同じ方式をハンディ側でも設定してください。

不要な接続設定が記憶されている

・一度切断ボタンを押してから再度設定をしてください。



# ハンディアプリ操作説明

## 起動方法



デスクトップの「ふくろうハンディ」アイコンに十字キーでカーソルをあわせ、エンターキーを押します。

## 終了方法



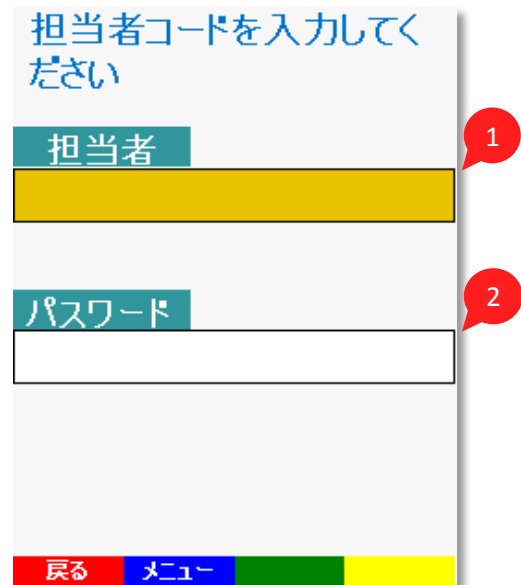
- ①戻るボタン、もしくはメニューボタンで、メインメニューを表示します。
- ②終了ボタンで終了します。

## メインメニュー



- ①実行する処理番号をテンキーで選択します。

## 担当者入力



- ①処理を行う担当者を入力します。
- ②パスワードをテンキーから直接入力します。

## 出荷検品

売上計上時に発行した出荷検品リストを元に、商品をスキャンして出荷検品処理を行います。  
 出荷検品リストで指定された商品と数量のチェックを行います。

### 1. 倉庫指定

倉庫コードを入力してください

倉庫

戻る メニュー

①出荷検品を行う倉庫コードを入力します。

### 2. 伝票No指定

伝票Noを入力してください

売上傳票No 本社倉庫

戻る メニュー

①印刷した出荷検品リストに記載のバーコードをスキャンします。  
 テンキーから直接入力することも可能です。

### 3. 商品スキャン

売上傳票No 23  
 得意先 00  
 テスト得意先

商品

追跡番号

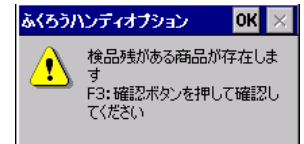
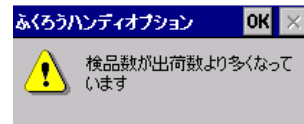
検数

戻る メニュー 確認 登録

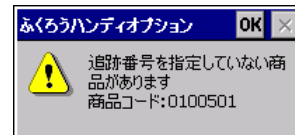
- ①商品入力欄にカーソルがある状態で、スキャンします。
- ②追跡番号を入力する商品の場合は、追跡番号をテンキーより手入力します。
- ③検数はスキャンと同時に1ずつ加算されます。  
 数量を間違えた場合は、確認ボタンから数変更を行ってください。  
 検品が終了したら、送信ボタンを押してデータを送信します。

### 補足説明

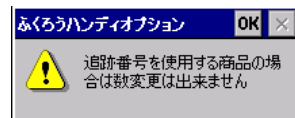
・検品数が、出荷リストの数量と違う場合は送信出来ません。



・追跡番号を登録する商品の場合、追跡番号を必ず入力してください。



・追記番号を登録する商品の場合、手入力での数変更は出来ません。1品ごとスキャンしてください。



## 返却

返却された商品をスキャンします。  
返却検品を行うと、自動的に返却済みになります。

### 1. 返却日指定

返却商品を1つスキャンしてください

返却日 2018/01/16

商品

戻る メニュー

- ①返却日を入力します。
- ②返却された商品が、どの売上データのものか検索する為、商品を一点スキャンします。

### 2. 売上傳票検索

得意先名	伝票No
テスト得意先	267
テスト得意先	269
ふくろう販売株式会社	271
厚木産業 株式会社	24

戻る メニュー

- ①スキャンした商品が含まれる、未返却の売上傳票が一覧表示されます。  
今回返却する伝票を、十字キーで選択し、ENTキーで確定します。

### 3. 商品スキャン

返却日 2018/03/12

商品

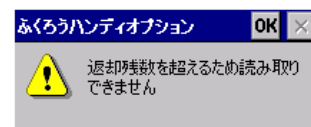
追跡番号

検数

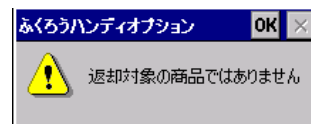
- ①商品入力欄にカーソルがある状態で、スキャンを行います。
- ②追跡番号を入力する商品の場合は、追跡番号をテンキーより手入力します。  
数量を間違えた場合は、確認ボタンから数変更を行います。  
検品が終了したら、送信ボタンを押してデータを送信します。

### 補足説明

- ・貸出数より多い数量での返却はできません。



- ・選択した売上傳票以外の商品は返却出来ません。





## 棚卸

スキャンした商品について、棚卸伝票が自動的に作成され、システムの在庫数が棚卸数で更新されます。

## 1. 倉庫指定

倉庫コードを入力してください

倉庫	
棚卸日	2018/01/17

戻る メニュー

- ①棚卸しを行う倉庫コードを入力します。
- ②棚卸日を入力します。

## 2. 商品スキャン

入荷日	2018/03/12
倉庫	本社倉庫
商品	
検数	0

戻る メニュー 確認 登録

- ①商品のスキャンします。
- ②検数は自動的に1がセットされますが、十字キーでカーソルを移動して、手入力でも変更することも可能です。棚卸しが終了したら、送信ボタンを押してデータを送信します。

# 入荷

仕入れた商品の入荷を行います。仕入伝票が作成され、在庫が増加します。  
仕入伝票は計上OFFで作成されます。ふくろう販売管理システムの仕入入力で確認後、計上ONで更新します。

## 1. 倉庫指定

倉庫コードを入力してください

倉庫

発注No

戻る メニュー

- ①入荷する倉庫コードを入力します。
- ②発注伝票を登録している場合は、発注Noを入力します。  
発注Noは空白でも処理は可能ですが、その場合、発注残管理はできません。

## 3. 商品スキャン

倉庫 本社倉庫

仕入先 アラス株式会社

入荷日 2018/03/12

商品

検数 0

戻る メニュー 確認 登録

- ①商品をスキャンします。
- ②検数は自動的に1がセットされますが、十字キーでカーソルを移動して、手入力でも変更することも可能です。  
棚卸しが終了したら、送信ボタンを押してデータを送信します。

## 2. 仕入先指定

仕入先、入荷日を入力してください

倉庫 本社倉庫

仕入先

入荷日 2018/01/17

戻る メニュー 検索

- ①仕入先を入力します。手入力、もしくは検索ボタンを押して表示される一覧から選択します。  
仕入先コードをバーコード化している場合はスキャンも可能です。
- ②入荷日を入力します。

## 補足説明

・発注Noを指定した場合、仕入先は変更できません。

仕入先、入荷日を入力してください

倉庫 本社倉庫

仕入先 A201

アラス株式会社

## ・仕入先検索画面

あ	か	さ	た	な	は	ひ	ふ	ら	わ
コード	名称								
H001	橋本商会株式会社								
T-01	ふくろう販売株式会社								
H002	北海商事株式会社								

- ①索引ボタンを十字キー◀▶で選択してENTキーを押します。
- ②表示された一覧から該当の仕入先を十字キー▲▼で選択し、ENTキーを押して確定します。

仕入先の索引検索を使用する場合は、ふくろう販売管理の仕入先マスタでカナを登録しておく必要があります。

## 確認画面・数量変更画面

スキャンしたデータは、送信するまでハンディ内に一時的に保存されます。  
確認ボタンを押すことで一覧でデータを確認したり、数変更ボタンで数量を変更することができます。

### 一覧画面

入荷日 2018/01/17  
倉庫 本社倉庫

商品	品名	株
	仮設ステージ H9001坪当たり	1
	簡易ステージH450足4本足	1
	丸椅子緑カバー・グリーン・室内用	1

検数

戻る メニュー 確認

戻る 数変更

①

①確認ボタンを押します。

### 数変更

品名	株
仮設ステージ H9001坪当たり	1
簡易ステージH450足4本足	1
丸椅子緑カバー・グリーン・室内用	1

数変更

商品

簡易ステージH450足4本足

数量

戻る

①

②

③

- ①確認画面から数量を変更したい商品を十字キーで選択します。
- ②数変更ボタンを押します。
- ③数変更画面が表示されるので、テンキーで入力します。

### 補足説明

- ・追跡番号を入力する商品の数量変更はできません。
- ・一時保存中のスキャンデータを削除したい場合は、商品スキャン画面の一つ前画面へ戻ると、全データ削除されます。
- ・スキャンした商品のうち、特定の商品のみを削除することはできません。その場合、数変更で該当の商品の数量を0に変更してください。

## システム管理

接続モードの変更や、データの同期や送信を行います。

### システム管理

#### システム管理メニュー

1. データ取込
2. データ送信
9. 接続モード変更

戻る

メニュー

#### データ取込

無線LANを使用しない場合に、中継データベースのマスターや伝票データの内容を、ハンディ内のデータベース（SQLite）へ取り込みます。

ローカルモードでハンディを使用する場合は、処理の前にならず実行してください。

データ取り込み時は、ハンディ内の全てのマスター、伝票データ、スキャンデータがクリアされるので、読取りデータが残っている場合は先に、データ送信を実行してください。

#### データ送信

ハンディ内のデータベースへ保存された、スキャンデータを、中継データベースへ更新します。

無線モードの場合は、ハンディでデータ登録をした時点で中継データベースを更新しているため、この処理は必要ありません。

#### 接続モード変更

接続モード変更画面を起動します。

### 接続モード変更

接続モードを選択してください

無線モード

ローカルモード

戻る

#### 無線モード

無線LANを使用して、直接中継データベースのマスターデータや伝票データを参照したり、スキャンデータを登録します。

#### ローカルモード

無線LANを使用せず、中継データベース用のマシンとハンディをUSBで接続し、マスターや伝票データをハンディ内のデータベース（SQLite）へ取り込み、そのデータを元に、参照や更新を行います。